



同期生でハワイ育ちのイアンと締太鼓の「締め上げ」

夢は海を越えて

太鼓に託した外国人研修生のチャレンジ

研修所では、これまでに13名の外国人研修生を迎えています。ここで学ぼうとやってくる彼らは、目標に向かいつつ、時に生活習慣や文化の違いに戸惑いながら、太鼓を通じて日本を知り、仲間との共同生活から様々なことを学び取ろうと意欲的です。そうした姿は常に、同期生にも大きな刺激を与えてくれます。

今年、カナダから迎えた研修生が、今の心境を語ってくれました。

聞き手●ジョニ・ウエルズ 翻訳●智恵子ウエルズ

野添 悠子 Grace Yulko Nozoe

私は一九七八年、カナダのトロントに生まれました。父はブリティッシュ・コロニア州生まれの日系二世、母は広島出身で、家の中では日本語で会話する家庭でした。四歳の時にピアノを弾き始め、七歳でバイオリン、十二歳でトロンボーンを始めました。オンタリオ州キングストンのクイーンズ大学で音楽を専攻し、卒業後一年間ピアノ教師、また、英語を母国語としない人に英語を教える教員の免許を一年かけて取得しました。また、地球科学にも情熱を感じています。延々と勉学を続けていた私は、今度はトロント大学で環境科学を専攻しました。

その頃には太鼓グループに所属して十年が過ぎていました。トロントの由緒あるマシー・ホールで鼓童の公演を見て衝撃を受け、鼓童に入ろうと心に決め、三二歳で研修生になったのです。

研修生になつて六ヶ月が過ぎ、何もかも期待通りか、あるいは期待以上だと感じています。すべてゼロから始めるのは大変でした。ミュージシャンとしては、ある程度実力をつけてきましたが、優れた太鼓打ちではないと自認しています。でも太鼓を叩くのが大好きです。

太鼓以外の面では、文化的な違いにやや戸惑いがあります。日系人の家庭で育ったから、日本の文化には馴染めると思っていました。予想は外れました。やはり異文化でした。文化の違いに驚くという事



実に驚いています。音楽で自己表現するのは、西洋の伝統の枠内では難しくありませんでした。しかし、ここでは何をしても何歩か足りず、相手に届かないと感じていて、これが最大の難関です。

また、年齢のこともありますね。他の若い研修生と同じように身体を動かすことができません。でも、自分の限界を知っているのが、必要に合わせて順応し埋め合わせることが出来ます。これは自分の長所だと思っています。

胡弓を弾くのが好きです。また、唄を歌うのが好きということに気付いて驚いています。以前は自分の声が好きではありませんでした。ただし、私の唄は日本らしくないと仲間からよく言われるので、もっと稽古しなければならぬと思っています。佐渡へ来た時、自分はちょっと日本人で、そしてちょっとカナダ人だと思っています。でも今は、自分は「日系」だと思っています。

太鼓以外の活動では、田んぼ仕事が好きです。手を土の中に入れて泥だらけになるのは、本当に気持ちいい！

研修所にチャレンジした外国人研修生

- ・1987研修生
ボブ・ワード／アメリカ、ワシントン D.C.出身(1988～1991スタッフ)
- ・1993研修生
永田ガリー清／カナダ、オンタリオ州出身
- ・1996研修生(この年まで一年制)
藤本芭蕉／アメリカ、カリフォルニア州出身
- ・1998～99研修生
渡辺薫／アメリカ、ミズーリ州出身(2000～2006舞台メンバー)
- ・1999研修生(一年間)
マリピエール・セレ／フランス出身
- ・2002研修生(一年間)
高谷昇平／アメリカ、カリフォルニア州出身

- ・2002～03研修生
ジョン内倉／カナダ、アルバータ州出身
- ・2003～04研修生
チャールズ 範映 ケログ／アメリカ、カリフォルニア州出身
- ・2006研修生(一年間)
佐藤クリスティーンあけみ／アメリカ、カリフォルニア州出身
- ・2007～08研修生
ジョーゼフ・スモール／アメリカ、ニューヨーク州出身
- ・2010研修生(一年修了)
海藤洋平／ブラジル、サンパウロ州出身
- ・2011研修生(一年修了予定)
ソーヤー イアン・嶺／アメリカ、ハワイ州出身
- ・2011研修生
野添悠子／カナダ・オンタリオ州出身

※2007年より、1年(総合課程)のみの研修希望者を受け入れています。